

平成 28 年 11 月号

こども考

「こども園になって」

園庭の落ち葉も増し、秋の深まりを感じるこの頃です。皆様には日々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は園の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、こども園になって半年余りが過ぎました。多くの子ども達が園にも慣れ、落ち着いた日々を過ごしています。こども園の制度は保護者が就労するしないにかかわらずお母さん支援をしているのですが、2.3号の子どもにとっては園に在園する時間が長く、保育者との関係が密になっています。集団生活ですから、自分の思い通りにならなかつたり体調が優れない等ストレスを感じたり、なかなか泣き止まなかつたりもします。情緒が不安定になることもあります。仕事をするお母さんお父さんから、そんなことは仕方がないのだから慣れてもらうしかないと思われる方がいるかもしれません。でも、子どもにとってはお母さんお父さんが何かあればすぐ来てくれる、近くに居るといふ存在自体がとても大きいのです。

よく量より質の問題だと言われる方がいます。働いている以上、実質的に子どもと向き合っている時間が取れないのはご最もなご意見ですが、子育てはお世話や面倒がかかりますし、絶対的に多くの時間を費やします。子どもが愛情を求めているこの時期には時間を共に過ごしてできるだけ応えてあげましょう。

お母さんの仕事が長引くことで、その日の預かり保育を延長することもあるでしょう。反対に早めにお迎えに来られる日もあるでしょうし、そんな日の子どもはとても喜びます。どんなに保育者がお世話をしてもお母さんに勝るものはありません。親と子の心の絆を大切にしたいと思います。幼児期だからこそ努力してほしいですね。

*ご家庭からビニール袋の寄付をお願いします。レジ袋、ごみ袋等、大小どんな袋でも結構です。衣類の汚れもの等を持って帰る際に使わせていただきます。市指定のマークがあればごみの回収にも使用できます。



大道芸ワールドカップ
年長児器楽合奏
2016_11_03